

# 第1章

## 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」 (小学校)

# I 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)の概要

## 1 調査実施の趣旨

東京都教育委員会では、平成16年度から、国語、社会、算数、理科の教科の目標や内容の実現状況を把握し、それを指導方法の充実・改善に結び付けることを目的に、教科別・観点別の学力定着状況調査を3年間実施した。平成18年度から平成20年度にかけては、「問題解決能力等」の調査を実施し、平成19年度から平成22年度にかけては、「基礎的・基本的な事項に関する調査」を実施した。

これまでの調査の結果から、東京都における児童の学力の定着状況については、概ね良好であるが、「長い文章を読んで内容を把握することや情報を整理して判断すること」については、課題があることが明らかになった。この課題を踏まえ、平成22年度には、「文章や図表、グラフなどから必要な情報を正確に読み取り、解釈しながら問題を解決する」過程において、児童がどの段階でどのような学習のつまずきがあるのかを明らかにするために、「読み解く力に関する調査」を実施した。平成23年度からは、小学校学習指導要領が全面実施されたことを踏まえ、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況と「読み解く力」の定着状況を把握するために、国語、社会、算数、理科の各教科について調査を実施している。

## 2 調査問題作成の基本方針

- (1) 調査問題を、よりよい授業展開の在り方を提案する「授業提案型」および児童の学習のつまずきが、どこでどのように見られたのか分析できる「課題分析型」の2種類とする。
- (2) 学習指導要領に示された目標や内容の実現状況を、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの評価の観点から調査する。
- (3) 「読み解く力」の定着状況を、「必要な情報を正確に取り出す力」、「比較・関連付けて読み取る力」、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の3つの観点から調査する。

## 3 調査項目

教科	調査項目
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すこと・聞くこと（「聞くこと」については、音声を聞いて答える問題）</li> <li>・漢字の読み（「学年別漢字配当表」第4学年までのもの）</li> <li>・漢字の書き（「学年別漢字配当表」第3学年までのもの）</li> <li>・言葉に関する知識 ・文学的な文章の読み ・説明的な文章の読み ・書くこと</li> </ul> <b>【読み解く力】</b> (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域や区市町村の様子 ・地域の販売に携わっている人々の働き</li> <li>・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための活動</li> <li>・地域の人々の安全を守る活動 ・都道府県の位置 ・東京都の様子</li> <li>・地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事</li> </ul> <b>【読み解く力】</b> (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数、小数、分数の計算（小数×小数を含む） ・数の相対的な大きさ</li> <li>・面積 ・四角形の特徴 ・立方体、直方体 ・□などを用いた式</li> </ul> <b>【読み解く力】</b> (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
理科	[小学校第5学年6月までに学習する次の内容] <ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫と植物 ・季節と生物 ・植物の発芽 ・人の体のつくりと運動 ・物と重さ</li> <li>・太陽と地面の様子 ・天気の様子 ・磁石の性質 ・金属、水、空気と温度</li> </ul> <b>【読み解く力】</b> (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力

※持ち物として、定規を用意する。

※各教科とも小学校第4学年までに学習した内容を含む。

## Ⅱ 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

【小学校】

### 1 調査結果の概要

教科	《教科の観点ごとの正答率》				《教科の読み解く力ごとの正答率》						
	内容	都全体 青梅市	平均正答率グラフ(%)		差	評価の観点	都全体 青梅市	平均正答率グラフ(%)		差	
			0	50	100			0	50	100	
国語	国語への関心・ 意欲・態度	93.3 %	東京都			必要な情報を正 確に取り出す力	73.1 %				-11.0
		89.8 %	青梅市				62.1 %				
	話す・聞く能力	81.7 %				比較・関連付け て読み取る力	69.3 %				-8.9
		73.2 %					60.4 %				
	書く能力	39.8 %				意図や背景、理由を理解・ 解釈・推論して解決する力	66.9 %				-12.1
		27.7 %					54.8 %				
	言語についての知 識・理解・技能	55.2 %				B 読み解く力に関 する内容	69.8 %				-10.7
		41.8 %					59.1 %				
	読む能力	74.6 %				教科の合計 (A+B)					-10.1
		67.6 %					66.5 %				
A 教科の内容	65.9 %					56.4 %					
	55.9 %										
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度	87.3 %				必要な情報を正 確に取り出す力	72.0 %				-7.3
		84.3 %					64.7 %				
	社会的な思考・ 判断・表現	72.6 %				比較・関連付け て読み取る力	53.3 %				-10.4
		66.3 %					42.9 %				
	観察・資料活 用の技能	78.3 %				意図や背景、理由を理解・ 解釈・推論して解決する力	52.9 %				-8.4
		72.7 %					44.5 %				
	社会的事象につ いての知識・理解	62.0 %				B 読み解く力に関 する内容	59.4 %				-8.7
		54.0 %					50.7 %				
A 教科の内容	74.2 %				教科の合計 (A+B)	70.2 %				-6.7	
	68.2 %					63.5 %					
算数	算数への関心・ 意欲・態度	84.1 %				必要な情報を正 確に取り出す力	53.5 %				-10.2
		80.5 %					43.3 %				
	数学的な考え方	40.7 %				比較・関連付け て読み取る力	21.9 %				-5.7
		26.6 %					16.2 %				
	数量や図形につ いての技能	65.8 %				意図や背景、理由を理解・ 解釈・推論して解決する力	21.1 %				-7.2
		55.9 %					13.9 %				
	数量や図形につ いての知識・理解	54.6 %				B 読み解く力に関 する内容	32.1 %				-7.6
		42.8 %					24.5 %				
A 教科の内容	59.0 %				教科の合計 (A+B)	53.8 %				-10.2	
	48.2 %					43.6 %					
理科	自然事象への関 心・意欲・態度	90.7 %				必要な情報を正 確に取り出す力	72.2 %				-10.8
		87.5 %					61.4 %				
	科学的な思考・ 表現	61.8 %				比較・関連付け て読み取る力	71.9 %				-8.6
		55.0 %					63.3 %				
	観察・実験の 技能	64.8 %				意図や背景、理由を理解・ 解釈・推論して解決する力	59.1 %				-6.8
		59.4 %					52.3 %				
	自然事象につ いての知識・理解	79.1 %				B 読み解く力に関 する内容	67.8 %				-8.8
		69.2 %					59.0 %				
A 教科の内容	71.5 %				教科の合計 (A+B)	70.4 %				-7.5	
	64.6 %					62.9 %					

## 2 各教科の問題ごとの正答率一覧

### (1) 国語（小学校第5学年対象）

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点					正答率 (都全体 青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類								
				①	②	③	④	⑤												
1(1)	1	3・4年 A話聞エ	発表の内容を正確に捉えることができる。		○				78.8 %		-4.7	○								
1(2)	2		話し合いの内容を正確に捉えることができる。		○				74.1 %											
1(3)	3	3・4年 A話聞オ	話し合いの内容をもとに発表に付け足そうとしていることを捉えることができる。		○				82.7 %		-12.1									
1(4)	4	3・4年 A話聞工	適切な関心・意欲・態度をもって、話すこと、聞くことについての学習に取り組もうとしている。	○					70.6 %											
2(1)	5	3・4年 伝(1)ウ(イ)	第4学年までに配当されている漢字を文脈に即して正しく読むことができる。					○	83.7 %		-8.9	●								
2(2)	6							○	74.8 %											
3(1)	7		第3学年までに配当されている漢字を正しく書くことができる。					○	95.8 %					-2.5	●					
3(2)	8							○	93.3 %											
4(1)	9			3・4年 C読イ	【資料】の文章から、バイオメティクスについての情報を正確に取り出すことができる。	取り出す力										84.9 %		-10.3	○	
4(2)	10			3・4年 C読エ	【資料】と【メモ】の二つの資料内容を比較・関連付けて読み取ることができる。	読み取る力										74.6 %				
4(3)	11	3・4年 C読工	【資料】と【メモ】の内容を理解・解釈して、さやかさんが目的に応じてまとめた文章を考えることができる。	解決する力					61.0 %		-10.9	○								
5(1)	12	3・4年 C読ウ	叙述を基に場面の様子を正確に読み取ることができる。					○	50.1 %											
5(2)	13		表現の特色を正確に捉えることができる。					○	56.1 %		-17.9	○								
5(3)	14		叙述を基に登場人物の様子を読み取ることができる。					○	38.2 %											
6(1)	15	3・4年 B書ウ	相手や目的に応じて書きたいことが適切に伝わるように書くことができる。			○			58.4 %		-12.0	○								
6(2)	16	3・4年 B書オ	文章を読み返し、よりよい表現に書き直すことができる。			○			46.4 %											
6(3)	17	3・4年 B書エ	適切な関心・意欲・態度をもって、書くことについての学習に取り組もうとしている。	○					73.1 %		-11.0	○								
7	18	3・4年 伝(1)イ(キ)	文の中における主語と述語の関係について理解できている。					○	62.1 %											
8(1)	19		修飾と被修飾との関係(連続する文節にある場合)について理解できている。					○	69.3 %		-8.9	●								
8(2)	20		修飾と被修飾との関係(離れた文節にある場合)について理解できている。					○	60.4 %											
									66.9 %		-12.1									
									54.8 %											
								74.0 %		-7.2	○									
								66.8 %												

評価の観点 ①国語への関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力  
⑤言語についての知識・理解・技能

(分類) ○ 教科書レベルの問題 ● 教科書練習レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数

(2) 社会 (小学校第5学年対象)

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④				
1(1)	1	3・4年 (1)ア (6)ア	身近な地域の様子を四方位から読み取ることができる。			○		61.1 % 54.2 %		-6.9	○
1(2)	2		縮尺から2地点間の距離を読み取ることができる。			○		81.3 % 73.4 %		-7.9	●
1(3)	3		地図から読み取ったことを基にして、地域の様子について捉えることができる。		○			73.6 % 65.0 %		-8.6	
2(1)	4	3・4年 (4)アイ	資料から、火災が発生した時の様子を読み取ることができる。			○		85.6 % 80.1 %		-5.5	○
2(2)	5		調べたことを基にして、消防署の取組の目的を捉えることができる。		○			38.1 % 33.7 %		-4.4	
2(3)	6		調べたことを基にして、地域の消防団の取組の目的を捉えることができる。		○			77.9 % 74.2 %		-3.7	●
2(4)	7		学習を振り返り、これから取り組んでいきたいことを考えよう。	○				90.4 % 88.0 %		-2.4	●
3(1)	8	3・4年 (6)アイ	自分たちが通う小学校がある区市町村の地理的位置を理解している。			○		57.9 % 58.6 %		0.7	○
3(2)	9		東京都の土地の標高、主な都市について理解している。			○		71.6 % 63.4 %		-8.2	○
4(1)	10	3・4年 (2)アイ (6)ア	資料から疑問や調べてみたいことを見出し、調べようとしている。	○				84.1 % 80.6 %		-3.5	●
4(2)	11		47都道府県の名称と位置を理解している。			○		56.5 % 40.1 %		-16.4	○
4(3)	12		資料から、店内の様子について読み取ることができる。			○		87.5 % 82.9 %		-4.6	○
4(4)	13		スーパーマーケットの売り場の工夫とその目的を正しく捉えることができる。		○			80.6 % 71.8 %		-8.8	●
5(1)	14	3・4年 (5)ア	資料から、古い道具の使い方を読み取ることができる。			○		76.1 % 72.8 %		-3.3	●
5(2)	15		資料から読み取ったことを基にして、道具の変化について捉えることができる。		○			80.8 % 74.0 %		-6.8	●
5(3)	16		道具の変化と人々の生活の変化とを関連付けて捉えることができる。		○			84.7 % 79.0 %		-5.7	
6(1)	17	3・4年 (6)ウエ	観光課で働くCさんの仕事について、正しく情報を取り出すことができる。	取り出す力				66.2 % 57.3 %		-8.9	○
6(2)	18		資料から取り出した情報を関連付け、Cさんの訪問先から考えられる特徴や目的を読み取ることができる。	読み取る力				49.9 % 40.9 %		-9.0	●
6(3)	19		Cさんが訪問先を選んだ理由について推論することができる。	解決する力				58.8 % 52.8 %		-6.0	
7(1)	20	3・4年 (3)アイ	東京都の給水制度について、正しく情報を取り出すことができる。	取り出す力				77.9 % 72.0 %		-5.9	○
7(2)	21		【東京都の給水制限回数】と【東京都に水を送っているダム(貯水池)とその完成した年と場所】から読み取ることができる情報を比較・関連付け、給水制度とつくられたダム(貯水池)数の関係について読み取ることができる。	読み取る力				56.8 % 44.9 %		-11.9	●
7(3)	22		家庭に確実に水が届いている理由について推論することができる。	解決する力				47.1 % 36.1 %		-11.0	

評価の観点 ①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・表現 ③観察・資料活用の技能  
④社会的事象についての知識・理解

(分類) ○ 教科書例題レベルの問題 ● 教科書練習問題レベルの問題

※到達目標値は、○と●の合計数

(3) 算数 (小学校第5学年対象)

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④				
1(1)	1	5年D(2)ア	四則の混合した計算ができる。			○	89.4 % 83.2 %		-6.2	○	
1(2)	2	4年A(5)イ	小数+小数の計算ができる。			○	63.2 % 54.0 %		-9.2	○	
1(3)	3	4年A(6)イ	帯分数-帯分数の計算ができる。			○	64.9 % 47.9 %		-17.0	○	
1(4)	4	5年A(3)イ	小数×小数の計算ができる。(乗数が1より小さい)			○	49.9 % 39.6 %		-10.3	○	
1(5)	5	4年A(5)ウ	小数÷小数の計算ができる。(商が1より小さい)			○	68.3 % 56.9 %		-11.4	○	
2(1)	6	4年A(3)エ	わり算のきまりを理解している。(除数と被除数を同じ数で割る)			○	52.0 % 35.5 %		-16.5	●	
2(2)	7	4年A(2)ウ	四捨五入してから上から～の概数にすることができる。			○	58.7 % 50.0 %		-8.7	●	
2(3)	8	4年A	概数について学習したことを学習や生活に生かそうとしている。	○			91.2 % 87.7 %		-3.5	●	
3(1)	9	3年A(5)ア	小数の系列を理解している。			○	82.9 % 76.8 %		-6.1	●	
3(2)	10	3年A(6)イ	分数の表す大きさを理解している。			○	50.2 % 44.0 %		-6.2	●	
3(3)	11	3年A (5)ア(6)イ	分数と小数の大小を比較することができる。			○	45.6 % 33.9 %		-11.7	●	
4(1)	12	4年D(2)ウ	基準量、比較量、割合の関係を図と関連付けて見ることができる。			○	63.6 % 52.6 %		-11.0	●	
4(2)	13		比較量と割合から基準量を求めることができる。			○	59.8 % 49.2 %		-10.6	●	
5(1)	14	4年B(1)ア	単位面積がいくつ分かを数えて面積を求めることができる。			○	82.2 % 73.2 %		-9.0	○	
5(2)	15		1aは、10(m)×10(m)であることを理解している。			○	30.9 % 16.3 %		-14.6	●	
5(3)	16	4年B(1)イ	チューリップを植えた正方形の土地の面積とその周りのパンジーを植えた土地の面積の差を求めることができる。			○	24.5 % 10.9 %		-13.6		
6(1)	17	3年B(3)イ	ある時刻から何分前の時刻を求めることができる。			○	74.2 % 66.9 %		-7.3	○	
6(2)	18		分で表された時間の和を何時間何分で表すことができる。			○	65.3 % 53.0 %		-12.3	●	
6(3)	19		時刻と時間を使って問題を解決することができる。			○	40.4 % 25.9 %		-14.5		
7(1)	20	3年C(1)ウ	直径の長さ半径の長さの関係を理解している。			○	56.8 % 41.2 %		-15.6	●	
7(2)	21		円を使った作図の方法を説明することができる。			○	52.7 % 33.6 %		-19.1	●	
7(3)	22		複合図形を円の部分の組み合わせと見ることができる。			○	39.8 % 28.7 %		-11.1		
8(1)	23	4年D(4)ア	資料の項目を落ちや重なりなく数えることができる。			○	67.7 % 62.8 %		-4.9	○	
8(2)	24		分かっていることを関連付けて二次元表を作成することができる。			○	23.3 % 8.1 %		-15.2		
8(3)	25	4年D(4)	データを用いて問題を解決しようとしている。	○			77.1 % 73.4 %		-3.7	●	
9(1)	26	4年 D(2)イ	カレンダーから情報を正しく取り出すことができる。			取り出す力	46.1 % 32.9 %		-13.2	○	
9(2)	27		うるう年とカレンダーを関連付けて、関係について読み取ることができる。			読み取る力	10.1 % 5.4 %		-4.7	●	
9(3)	28		カレンダーとうるう年について読み取ったことを基に、問題を解決することができる。			解決する力	9.2 % 5.2 %		-4.0		
10(1)	29	4年 D(4)ア	問題の場面から情報を正しく取り出すことができる。			取り出す力	60.9 % 53.8 %		-7.1	○	
10(2)	30		表と文章とを関連付けて読み取ることができる。			読み取る力	33.6 % 27.1 %		-6.5	●	
10(3)	31		表や文章から読み取ったことを基に、問題を解決することができる。			解決する力	33.1 % 22.6 %		-10.5		

評価の観点 ①算数への関心・意欲・態度 ②数学的な考え方 ③数量や図形についての技能 ④数量や図形についての知識・理解

(分類) ○ 教科書例題レベルの問題 ● 教科書練習問題レベルの問題

※到達目標値は、○と●の合計数

(4) 理科 (小学校第5学年対象)

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④				
1	1	3年B(1)ア	昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。				○	78.5 % 70.0 %		-8.5	○
2	2	4年B(1)ア	人の体には、骨、筋肉、関節があることを理解している。				○	92.2 % 84.9 %		-7.3	○
3(1)	3	3年A(4)アイ	簡易検流計を使って、回路を流れる電流の強さを適切に調べることができる。				○	73.7 % 72.1 %		-1.6	●
3(2)	4	A(5)アイ	磁石や電気の性質を理解し、金属等の種類を判別することができる。		○			71.8 % 66.7 %		-5.1	
3(3)	5	4年A(3)ア	磁石の極の性質を理解し、ものづくりに活用することができる。		○			59.0 % 53.9 %		-5.1	●
4	6	4年B(3)ア	1日の天気の変化を気温と関連付けて考えることができる。		○			68.5 % 60.2 %		-8.3	
5	7	4年B(4)イウ	星座早見の適切な使い方を理解している。				○	40.8 % 31.8 %		-9	○
6	8	3年A(2)イ	ゴムの力の大きさと物の動く様子とを関係付けて、適切な条件を考えることができる。		○			36.3 % 33.4 %		-2.9	
7(1)	9	4年A(2)アウ	液体から気体に水の姿が変わる現象の名称を理解している。				○	74.5 % 61.4 %		-13.1	●
7(2)	10	B(3)イ	温度計の正しい読み方を理解している。				○	80.0 % 74.4 %		-5.6	●
7(3)	11		空気の性質と生活への活用場面とを関連付けて考えることができる。		○			73.5 % 60.6 %		-12.9	●
8	12	3年A(1)ア	物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。				○	71.3 % 60.7 %		-10.6	●
9(1)	13	4年A(3)ア	おもちゃが走った時間と道のりの関係について、資料から必要な情報を正確に取り出すことができる。	取り出す力				83.3 % 74.3 %		-9.0	○
9(2)	14		回路のつながり方と50m進むのにかかる時間との関係について、2つの実験結果を比較・関連付けて考えることができる。	読み取る力				76.7 % 70.2 %		-6.5	●
9(3)	15		回路のつながり方によるおもちゃの違いを理解し、適切な条件を考えることができる。	解決する力				55.8 % 48.6 %		-7.2	
9(4)	16		電気の働きに興味・関心をもち、さらに調べたり、活用したりしようとしている。	○				94.0 % 91.1 %		-2.9	●
10(1)	17	5年B(1)イ	実験1の結果から分かることについて、資料1から必要な情報を正確に取り出すことができる。	取り出す力				61.2 % 48.5 %		-12.7	○
10(2)	18		実験1の結果から分かることについて、資料1の結果と予想とを比較・関連付けて読み取るすることができる。	読み取る力				67.1 % 56.3 %		-10.8	●
10(3)	19		実験1と実験2の結果から、水をあげずに植物が育つ理由を考えることができる。	解決する力				62.5 % 56.1 %		-6.4	
10(4)	20		観察・実験の結果を基に、自らの学習活動を振り返ったり、新たな課題を発見したりしようとしている。	○				87.4 % 83.9 %		-3.5	●

評価の観点 ①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能  
④自然事象についての知識・理解

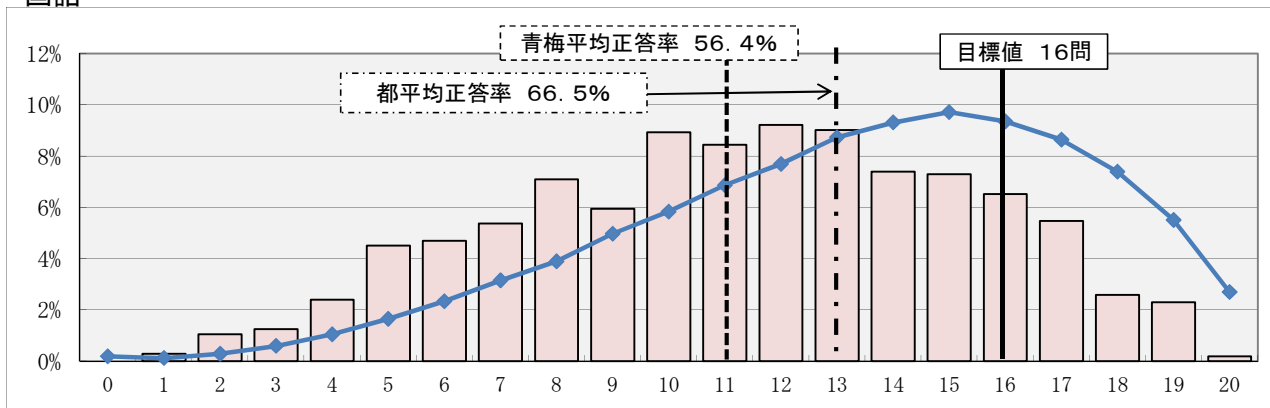
(分類) ○ 教科書例題レベルの問題 ● 教科書練習問題レベルの問題

※到達目標値は、○と●の合計数

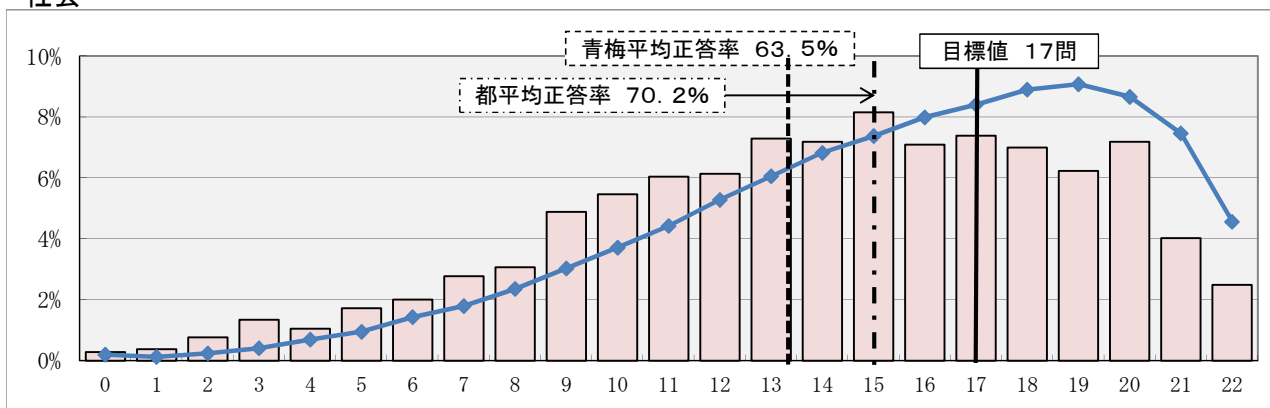
## 青梅市の合計正答数の人数分布（小学校 第5学年）

\* 棒グラフが青梅市、折れ線グラフが東京都を示す。（縦軸：児童の割合（%）、横軸：正答数（問））  
 ※目標値とは、学習指導要領の内容について標準的に学習活動が行われたと想定した場合の、正答問数である。

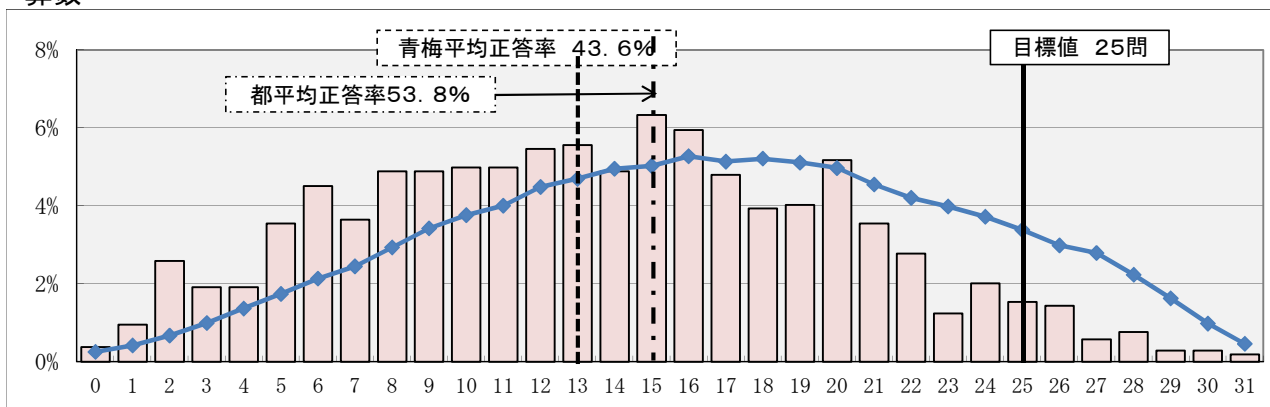
### 国語



### 社会



### 算数



### 理科

